

「浙江大学スプリングスクール参加報告書」

京都大学農学部3年 段 正楠

今回、杭州で2週間過ごし、現地の学生と交流したことで、中国語が多少話せる、現在の立場が、自分の将来にとってかなり大きな武器になると実感できました。今までは、昔国籍によりいじめられていたこともあり、中国籍ということにある種のコンプレックスをもっていました。今回のプログラムで、たくさんの国のたくさんの人が中国語を学んでおり、たくさんの中国人が日本語を学んでいるのを目の当たりにし、自分に自信が持てたのと同時に、昔とは中国という国への見方、中国の立場が変わっていることを実感し、うれしく思うと同時に、中国語を昔のように母国語のように滑らかに話せるほど上達させたいと思いました。4月から4回生になり、その後、自分では大学院に進学する予定です。修士1回生で、半年から1年ほどの長期の期間、中国語圏の大学に留学し、中国語をものにしたいなと特に思いました。

今回、杭州では午前中は留学生とともに中国語のクラスに参加しました。中国では微信がかなり普及しており、先生との連絡も微信、先生も含めたクラスのグループもあり、すごく便利だと思いました。また、レストランなど、微信を利用して注文や料金を払うことができる店もかなりあり、かなり進んでいるなと思い驚きました。一方で、物乞いが多く、高鉄など、列を並んでいると割り込みも多く、交通渋滞がひどく、整備も進んでないところを見ると、まだまだ発展途上だなと感じました。

午後は現地の学生が観光案内をしてくれました。現地の学生の日本語能力がかなり高く、京都大学の学生とも気さくに接してくれ、すぐに打ち解けることができ、とても楽しかったです。しかし、今回のプログラムでは、中国に行く前に行程に対する説明がほとんどなかったので、もう少し説明していただけたとよかったかなと思います。

先の進路については、先述の通り、中国語を習得したいと思うようになりました。

这次在中国跟中国同学们过了两周，我觉得我的汉语水平长进很大。可是，在中国，我就当翻译。对中国人用汉语，对日本人用日语。第一周，我觉得又难又累，很麻烦。可是，过了一周，习惯了，觉得自己汉语水平长得不少。跟同学们学得玩儿得很高兴。